

東京東信用金庫

情報系システム構築を標準化。 協力会社と一丸で開発スタイルを改善し、 地域密着型サービスを強靱に加速。

78の店舗・出張所で地域密着のサービスを展開する東京東信用金庫。システム部では職員の監修のもと、複数の協力会社スタッフも常駐して、勘定系システムや情報系システムの構築・運用、外部提出資料のデータチェックなど多岐にわたる業務にあたっている。混成部隊であることに加え、複数のプログラミング言語の混在やソースコードが持つ属人性の問題もあり、開発業務の伝達や、要員交代時の引継ぎを難しくしていた。この課題を解決することで、情報系システムの開発期間を短縮し、保守の容易性も改善したいと考えた東京東信用金庫が選んだのが、ノンプログラミングでJavaを100%自動生成するWeb Performerだった。属人性のないソースコードで開発スタイルが標準化され、開発もスピードアップ。頻出するシステム仕様変更要望にも迅速に対応できるようになった。

お客様が実現できたこと

- ✓ 開発成果物から属人性が減り、担当者交代の際の引継ぎがスムーズになった。
- ✓ システム開発が標準化され、開発工数削減とスピードアップでユーザーの満足度を向上。
- ✓ 本部業務担当や店舗担当者のニーズに応え、3年間で29本の情報系システムが稼働できた。

▶ お客様プロフィール



法人名：東京東信用金庫
URL：www.higashin.co.jp/

住所：東京都墨田区東向島
2-36-10

設立：1945年12月15日

職員数：1,443人

店舗数：68店舗 10出張所

店外ATMコーナー18ヵ所
事業内容：東京東信用金庫は、東京都23区及び埼玉県と千葉県に営業地区を有する信用金庫です。「縁」「あたたか一人へ・街へ」をテーマに、地域密着型金融事業を展開し、「ひがしん」の名前で親しまれながら、中小企業の課題解決の支援等を通じて地域経済の活性化に貢献しています。
(平成26年9月30日現在)

経営理念

- 縁
信 望：お客さま第一の姿勢で、誠実・健全な経営を
- 躍 動：独創的な発想を活発にして、力強い競争力を
- 共 存：役職員が協力して、地域社会との共存共栄を

あたたか一人へ・街へ
～21世紀をこころの時代・感性の時代として見据える～





東京東信用金庫
システム部 部長
原田 真生様

「選んで正解でした」

「Web Performerは自動生成されるソースコードにバグがほとんど生じないというのも良いですね。極めて高品質なプログラムを作ってくれるので、テスト期間も大幅に短縮されました。

現在では、新規情報系システム案件の9割ほどはWeb Performerで開発しています」

— 担当営業紹介 —



ソリューション営業本部
西川 博英

Web Performerを最大限にご活用頂き、うれしく思います。これからもご期待にそえるよう、製品を強化して参ります。



お客様のご要望

- ▶ 開発・運用担当者の流動性と開発成果物の属人性に起因する引継ぎ問題を解決したい。
- ▶ 混在する開発手法を可能な限り標準化し、開発効率を改善したい。
- ▶ 信金として欠かせない地域密着サービスを支援する情報システム構築ニーズに短期間で応えたい。



導入前の課題と背景

混在する開発環境が保守を困難にしている

金融機関のシステムは多岐にわたりますね

「当システム部は、外部提出資料等の情報チェック担当、勘定系システムの開発・運用を行うコンピュータ担当、そして情報系システムを構築・運用する情報処理担当に分かれています。

私たちが担当する情報系システムでは、ユーザーが当金庫職員ですから、画面の見栄えに凝るより、タイムリーにシステムを立ちあげ、仕様変更の要望にも迅速に応えることが優先されます。以前はMicrosoft .NET FrameworkやVBAなどを使って構築していましたが、開発工数が多い上、さまざまなツールや言語を使ったことが保守性低下の原因となっていました。また、協力会社やその要員が多く開発業務に関わることもあり、開発メンバーが入れ替わると修正や更新が難しいという課題もありました。頻繁な仕様変更要求に迅速に応えるには、開発スピード向上と同時に、開発成果物の属人性を解消し保守性を高める必要がありました」



導入の必然性

工数試算で開発効率改善効果を確認

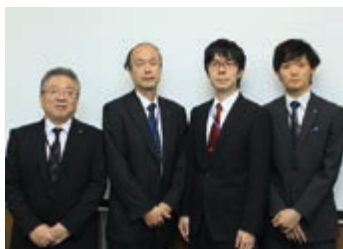
導入前にどのように検討されましたか

「Web Performer以外にも検討対象となった開発ツールはありましたが、あまり記憶に残っていません。協力会社であるシステムバンク株式会社は、当金庫以外の案件でWeb Performerを使った開発実績があったので、当金庫の開発案件に活用できるかを評価してもらいました。実際に開発テーマを想定し、それを.NETで開発した場合と、Web Performerを使った場合の工数をそれぞれ試算したところ、Web Performerによる開発効率は、.NETのほぼ2倍という結果が出たのです。それで導入を決定しました」

工夫 運用の工夫 ユーザーのシステム化ニーズに即応

どのように活用されましたか

「システム開発・運用業務には複数の協力会社との連携が欠かせません。そのためには、情報系システム開発の標準化を図ることが必要で、Web Performerの導入もそれが目的でしたから、ユーザー部門からシステム化の依頼があれば、積極的に活用してみました。



左から
システムバンク株式会社 金融システム部
部長 白崎 一美様
東京東信用金庫 システム部
副部長 野瀬 孝行様
システムバンク株式会社 金融システム部
前田 優太様
システムクリエイト株式会社
ビジネスソリューション事業部
加藤 隆太郎様

その結果、導入から3年で開発したプログラムは29本にも上ります。短期間に多くのシステム化ニーズに応えられただけではなく、開発・運用業務の引継ぎや技術トランスファーも円滑になりました。Web Performerはバグの無いソースコードを自動生成することから、ソースコードから属人性が排除され、開発者本人でなくとも、Web Performerを使って仕様変更対応や、機能追加等が容易になりました」

パッケージを利用せずツールで開発されたのですね

「システムによっては、パッケージ利用が可能な場合もありますが、カスタマイズに工数や費用がかかり、パッケージのバージョンアップ時には当金庫内だけで対応することができません。そこで新規開発案件に対しては、まずWeb Performerで実現できないか検討することからスタートします。案件仕様がこの開発ツールに適さない場合のみ、他の開発手法を採用することにしました。

他方、以前開発した既存のシステムについては、深刻な不具合が無い限り継続使用し、Web Performerを使っでの再構築は急ぎませんでした。古いシステムは時間の経過とともに廃止されるので、新規案件を中心にWeb Performerで開発していけば、開発費用を抑えながらも次第に開発システムが標準化されていくことになるからです」

成果 取り組みの成果 金融機関特有のニーズも満足

ユーザーにはどのようなメリットがありましたか

「Web Performerで開発した情報系システムは、いずれも現場からのシステム化要望に短期間で応えたものです。たとえば年金管理システムです。年金給付用預金口座の獲得は、地域密着型のビジネスを展開する信用金庫の重要業務で、年金受給者の現況情報をタイムリーに店舗現場から収集・分析し、戦略的に活用しなければなりません。これをシステム化しました。また、税務調査システムは、預金に関する税務署からの調査依頼に迅速かつ正確に応えるためのやや規模の大きいシステムです。さらには、施設予約システムなど汎用的なものも開発しています。

こうしたシステムは本部業務の変革にも貢献しました。たとえば本部での店舗データ集計業務では、各店舗にExcelのフォーマットを配布し、記入後返送させて集計していましたが、非効率な上、勝手に変更されたセル書式の修復など無駄な業務も発生しました。これもWebシステム化することで、集計効率の改善とともに、データ精度も改善されました」

システム部の方にも成果はありましたか

「システムのユーザーにとってだけでなく、開発やシステム運用面でもWeb Performerのメリットは大きいですね。金融機関のシステム開発においては、金融業の業務詳細やフローなどを熟知する必要があり、ユーザーの要求を正確に把握することが要求されます。Web Performerでは、実際に画面のサンプルをユーザーに見てもらいコメントをもらうことができるので、短期間に正確な要件定義ができるようになりました。

以前の手法で開発したものくらべても、Web Performerで作ったシステムはユーザーの満足度は高いのではないのでしょうか。また、自動生成されるソースコードの信頼度の高いことにも助けられます。これによりテスト期間が大きく短縮されました。リリース後に仕様変更がはいることも多く、そうした場合に迅速に対応できるのも良いですね」

将来

将来の展望 標準開発ツールとして位置づける

今後の展望についてお聞かせください。

「今まで同様に、新規案件はWeb Performerを活用して開発するといった基本姿勢を継続する予定です。また開発効率が上がったことにより、取組みテーマの幅も

広がりました。今後は情報系システムの周辺にあるアプリケーションとの連携等にも取り組んでいきたいです。Web Performerの良さを最大限引き出しつつ、開発の標準化を進められれば良いですね。

そのためにも、他のWeb Performerユーザーとの情報交換など、キャノンソフトウェアのサポートに期待しています」

短納期で満足度の高いシステムを構築

例：コンプライアンス研修報告関連業務

Before

Excelのフォーマットでデータ収集+集計

The image shows a complex Excel spreadsheet with multiple columns and rows, used for data collection and aggregation. The title is 'コンプライアンス研修報告集計表'.

店舗の報告業務担当者

- ・入力作業が煩雑
- ・原本提出やコピー保存が手間
- ・印鑑承認は非効率

本部の集計業務担当者

- ・集計のための転記作業が面倒
- ・検索やデータ抽出が大変
- ・帳票作成が手作業
- ・データメンテナンスが困難

Web Performer

両者からのシステム化要求に対応

After

Webシステムで報告、集計、分析

店舗ユーザー要望に応えた
入力画面

本部ユーザー要望に応えた
メンテナンス画面

The image shows a web-based input form with various fields and buttons, designed to meet the needs of store users. The title is 'コンプライアンス研修報告'.

The image shows a web-based maintenance screen with a table of data and various control buttons, designed to meet the needs of the head office users. The title is 'コンプライアンス研修報告システム'.

業務用アプリケーション100%自動生成ツール Web Performer (ウェブ パフォーマ)

開発工程の実装部分を自動化し、Web アプリケーションの「短期間かつ高品質」での開発を可能にします。

開発元：キャノン IT ソリューションズ株式会社

本文中に表記される「キャノンソフトウェア」株式会社について、2015年4月1日より、本製品の開発・販売元はキャノンITソリューションズ株式会社に移管されました。



Web Performer ホームページ

cs.canon-its.co.jp/product/web_performer

●記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。

キャノン IT ソリューションズ株式会社
東京 〒108-0073 東京都港区三田3-11-28
大阪 〒550-0001 大阪市西区土佐堀2-2-4

TEL(03)6741-9527
TEL(06)7635-3025

Canon キャノン ITソリューションズ株式会社

〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28

Copyright© 1999-2015 Canon IT Solutions Inc. All rights reserved.